



人類に
奉仕する
ロータリー

2016-2017年度

■会長 中田 幸雄

■幹事 中尾登志男

例会日:金曜日12:30-13:30

例会場:スカイホテル

第3053回例会

■点鐘・握手

■ロータリーソング「我等の生業」

■ゲスト並びにビジターの紹介

・富山県立魚津工業高等学校 インターアクト部

■誕生祝

該当者無し



■会長挨拶_中田会長



先週私的なことで休まさせていただき申し訳ありません。ホーチミンに4日間行ってまいりました。現地では30℃をこえる天気でした。若い人が多いという印象とインフラが遅れていて、車は1割で残りはオートバイです。現地の方は100M先でもオートバイを使います。4人まで乗っていいそうです。朝は渋滞で、驚きの連続でした。医療も充実しておらず、貧富の差も激しく病院には行けない状況です。日系企業は1600社で、賃金は16,500です。ゴルフをしましたが、一人ひとりにキャデイがつきません。3年まえから徴兵制度が復活しました。地下鉄を優先してインフラを進めています。ベトナムも旧正月でごったがえしていました。

トランプ氏も壁をつくるといっています。これからの1年どの業種がターゲットになるかわかりませんが、一喜一憂しなければならぬと思います。

魚津工業高校の皆様、本日の卓話の方をよろしく申し上げます。

■ 幹事報告_中尾幹事

★ガバナー事務所より

- ・2月度ロータリーレート \$1=116円
- ・ロータリー財団ニュース 1月号

★富山県共同募金会より

- ・H28年新潟県糸魚川市における大規模火災義援金へのご協力について(御礼)

★七尾ロータリークラブより

- ・創立30周年記念誌送付について

2月例会案内【平和と紛争予防/紛争解決月間】

- 2月 3日(金) 会員卓話 仙丸君
(スカイホテル)
- 2月10日(金) 会員卓話 谷川君
(スカイホテル)
- 2月17日(金) 会員卓話 辻君
(スカイホテル)
- 2月24日(金) 会員卓話 坪井君
(スカイホテル)

2月SAA補助

谷川君・清水君 よろしくお願ひします。



■ 出席報告_青山委員長

本日の出席 25 名 出席率80.0%

欠席者 8 名

清水君・谷川君・中島君・仙丸君・若井君・大城君

3051回のメイクアップ 稲盛君

3051回出席率 80.0% ⇒ 83.33%



■ 委員会報告

国際奉仕委員会_寺田委員長

- ・書き損じはがきの回収依頼
- ・釜山ぷいる釜一の友情交換



本日の卓話

魚津工業高等学校 インターアクト部

魚津工業高校の押川楓です。森悠樹です。よろしくお願いします。
こちらが本日の報告の流れになります。

- 1 学校紹介
- 2 機械工学部の軌跡
- 3 年次大会での様子
- 4 本校の年間活動報告

本校は、海沿いに立地する恵まれた環境の良い新川地区唯一の工業高校です。機械科、電気科、情報環境科の3つの学科があります。

本校の校訓は三つあり、それらの意味について説明します。創造「これまでになかったものを新たに作ること」、誠実「他人や仕事に対して真面目で真心があること」、練磨「深く精神、技術、学問などを磨くこと」の三つです。

次に新・機械科・情報環境科複合実習棟についてお話しします。

これが今年完成した新・機械科・情報環境科複合実習棟です。

思い出のあった昔の校舎を解体し、寂しい気持ちになりましたが、その一方新しい校舎が建築されると思うとワクワクする気持ちがありました。

解体して出た瓦礫の量はとても多く運び出すだけでも時間がかかり大変そうでした。

建築工事は順調に進み、基本的な土台となる部分ができ夏休み明けにはだいぶ大きくなっていて驚きました。

冬頃になると細部まで完成してようやく外観が完成しました。

建物の内部を紹介します。

1階と2階は機械科棟となっており、実習の時に使われています。

ここは、1階の電気科側にある材料試験室です。

金属材料の引張試験、硬さ試験、衝撃試験などの実習を行います。

ここは、2階の中央にある製図室です。

製図室は昔の校舎よりも広く新しくなり、ドラフターで快適に図面を書くことが出来、とても感謝しています。

ここは、2階の電気科側にあるシーケンス制御実習室です。

機械を制御するためのプログラムを作成する実習を行います。

3階と4階は情報環境科棟になっており、主に化学工業コースの実習が行われています。

ここは、3階の電気科側にある、化学分析実習室です。

中和滴定や酸化還元滴定など、定量分析を主に行います。

ここは、3階中央にある、機器分析実習室です。

奥に並んでいるのは、原子吸光分析やガスクロマトグラフ分析などの機器で、これらの機器を用いて金属イオンの濃度測定を行います。

ここは、4階の一番奥にある有機化学反応実習室です。

化学反応によって、酢酸エチルやニトロベンゼンなどを合成する、有機合成実習を行います。

続いて機械工学部についてお話ししたいと思います。

9月18日の第25回富山県高等学校ロボット競技大会で本校の機械工学部は富山県一位という結果を出し、全国高等学校ロボット競技大会に初めて出場しました。

今までは、本校の機械工学部は2年連続で県ベスト8には入ることが出来たものの全国に出場することのできるベスト4には入れないという悔しい結果が続いていました。

しかし、その悔しさをバネに富山県大会決勝で砺波工業を破り富山県1位になりました。

ここで今年の大会のルールと本校が作成したロボットについて説明したいと思います。

今年の大会では、離れた場所にあるはし、おぼん、弁当箱を段差などの障害を乗り越え運び、棚の上に置くりモコンロボットと、スタートした後自動でレールの上を動きボールを棚の上に置く自立ロボットの2つのロボットを作成しなければなりません。

本校のロボットについて説明しますリモコンロボットは、このようなロボットになっています。

特徴は、まずアームです。

このアームは、さまざまな運ばなければならないアイテムをこれ1つでしっかりつかむことができます。

次はクレーンです。

クレーンを伸ばすことで素早く棚にアイテムを置くことができます。

前後にあるアームで機体を持ち上げることで段差を上り下りすることができます。

自立ロボットは竿を伸び縮みさせることでボールを棚の上に置きます。

そして迎えた11月6日、今年の全国大会の開催地である石川県で第24回全国高等学校ロボット競技大会が行われました。本校の機械工学部は残念な結果で終わってしまいましたが、ロボットの性能としては他の高校に負けていなかったと思います。僕たちが中心となる来年こそは全国大会で入賞できるよう頑張りたいと思いました。続いて、インターアクト協議会・年次大会の報告をします。

国際ロータリー第2610地区平成28年度第39回インターアクト協議会は、平成28年6月18日に こまつ芸術劇場うらら で行われました。

講演の演題は、「未来の可能性を広げるコミュニケーション」、指導者研修会は、「繋がりを広げるコミュニケーションスキル」で、ともにコミュニケーションに関するものでした。

右の写真はグループ活動で、グループの1人に絵が渡され、渡された人は他の人に絵の内容を言葉で説明他の人は説明を聞いて絵をかき元の絵と比較する活動している様子です。

活動を通して人とコミュニケーションをとることの大切さと大変さを改めて学ぶことができました。特に先ほど紹介した活動では自分の見ているものを正しく相手に伝えるように話すのはとても難しいことだと思いました。なのでこれからはもっと人とのコミュニケーションを大切にしようと思いました。

国際ロータリー第2610地区平成28年度第39回インターアクト年次大会は平成28年10月30日に高岡商工ビルで行われました。

スポンサークラブは高岡西ロータリークラブ様、ホスト校は高岡商業高等学校でした。

参加高校は、13校ありそれぞれ自分の高校の特色を生かしたボランティア活動などの活動報告を行いました。他校のボランティア活動を聞いてみると自分の高校で取り入れたいと思う内容がたくさんありとても参考になりました。本校でも他校のアイデアを参考に飛躍していきたいです。

続いて株式会社ミナロ代表取締役緑川賢司氏さんのお話を聞きました。

緑川賢司さんの経歴は、2002年8月、20歳から15年間勤めた木型製作所が閉鎖に追い込まれ、株式会社ミナロを起業されました。

「情報」発信、「BtoC」、「連携連帯」をキーワードに中小製造業の世界でいち早くSNSやブログを取り入れ、顧客数を3人から1000倍の3000人に増やすことに成功しました。

BtoCとは、企業が販売し、一般消費者が購入する取引です。

具体例は、お客さんが、八百屋さんで大根を買う、お客さんが、電気屋さんで、ノートパソコンを見てWEB比較サイトで購入するなどです。

しかし、商品の仕入れは、卸売りやメーカーから購入することになるので、BtoCとは、違いBtoBとなります。

2012年2月には、「全国日本製造コマ対戦」を立ち上げ、現在までに全国150か所以上で開催しました。

参加チームも全国の中小製造業者を中心に延べ3000チームを超える大盛り上がりでした。

その3年後の2015年2月3回目の「世界コマ対戦」を開催しました。

世界コマ対戦とは、世界の中小製造業が自社の誇りを賭けて作成したコマを持ち寄り、1対1で戦う大会です。

7か国の海外チームが参戦する等、世界を巻き込む一大プロジェクト事業に発展しました

そして2016年3月新会社Ocasila Inc. を立ち上げました。

「価値ある日本製を世界に通ずるハイブランドにする」をビジョンにこれまでに培った圧倒的な製造業ネットワークをもとに中小企業の技術製品を世界に向けて展開する業務を開始しました。

今回の講演会では、緑川賢司さんの15年間勤めた木型製作所が閉鎖に追い込まれるなどのたくさんの逆境を乗り越え常に前向きな姿勢にとっても刺激をうけました。

僕も苦手なことや苦しいときは、逃避せずに前向きに頑張っていきたいです。

続いて、本校のボランティア活動などの年間活動報告に移りたいと思います。

本校では、生徒会、部活動を中心に児童センターでの交流や募金活動などを行っています。

様々な人との交流を通し、たくさん学ぶことが出来ました。またボランティア活動で多くの方々にご協力頂き嬉しく思います。

5月15日の「よっしゃ来い！！CHOUROKUまつり」では、誘導・整列ボランティアを行いました。

6月17日には、高校生さわやか運動 清掃ボランティア を行いました。

学校前と駅までのゴミ拾いをしました

挨拶をすることで他学年との交流を深めることができました。

10月20日にも、同様に清掃ボランティアを行いました。

7月10日には、6・26ヤング街頭キャンペーンに参加し、薬物乱用防止啓発活動として、アピタ魚津店で、募金活動や啓発のティッシュ配りを行いました。

8月3日には、かもめ児童センターの「やきやきバーベキュー」に行きました。

子供たちのバーベキュー調理・片付けの補助を行い、終了後は一緒に遊んだりしました。
子供たちの笑顔を見ているととても癒されました。

8月8日に、ひばり児童センターでの「赤い羽根共同募金 募金箱をつくろう教室」では、
参加児童の募金箱をつくる補助を行いました。

8月28日には、アップルヒルで行われた 24時間テレビ「愛は地球を救う」チャリティー街頭募金 に参加しました。

9月24日・25日の、あゆみの郷フェスティバルでは、準備でテントの設営を行いました。
当日は、受付や販売などのボランティアを行いました。

12月15日には、アップルヒル アピタ魚津店にて、魚津ロータリークラブの方々と、歳末助け合い募金を行いました。

12月21日には、歳末助け合い募金で集まった10万3420円をもって、
魚津市長を表敬訪問しました。

同じく新聞記事です

こちらが、そのときにいただいた感謝状になります。

各部の活動も紹介します。

吹奏楽部は福祉施設への訪問演奏や魚津市内での祭りなどにおいて、音楽を通して地域の方々と交流を深めています。

機械工学部や電気工学部、環境科学部はモノづくり教室における燃料電池カーの製作、各種イベントにおける廃油を使用した石鹸作りなどを通し、児童たちにモノづくりの面白さを伝えています。

本校では、全校生徒の活動として、あいさつ運動や清掃活動を行っています。それによりあいさつを交わす生徒が増加し、通学路や最寄り駅がきれいになり、気持ちよく利用できるようになりました。

しかし、ボランティア活動に対する意識の低い生徒が多いという現状があります。

これからは、校内放送やポスター掲示などを通して、ボランティア活動への意識を高め、地域の方々とつながりを深めながら、地域社会と一体となった活動を目指していきたいと思っています。

これで発表を終了します。ご清聴ありがとうございました。

